

特定非営利活動法人日本栄養改善学会NPO第11期8月度理事会議事録

- I. 日 時：平成25年8月24日（土）13:15～16:40
- II. 場 所：東京都港区 TKP田町カンファレンスセンター B1会議室
- III. 出席者数：理事総数26名 出席理事数25名（内委任出席4名）
- IV. 出席理事氏名：木戸康博（理事長）、加藤秀夫（副理事長）、荒川義人、石田裕美、大山珠美、笠原賀子、亀井明子、川島由起子、酒井徹、鈴木公、鈴木和春、寺本房子、徳留信寛、徳留裕子、富田教代、新澤祥恵、早瀬仁美、丸山千壽子、南久則、八木典子、八楯志郎、石見佳子（委任出席）、上西一弘（委任出席）、河野美穂（委任出席）、春木敏（委任出席）
- 欠席理事氏名：池本真二
- 出席監事氏名：酒元誠治、林静子
- その他の出席者：伊達ちぐさ第60回学術総会会長、中村丁次第61回学術総会会長（代理：及川勉 実行委員長、鈴木志保子総務委員長）
- V. 審議事項
- 【I. 通常総会関連事項】
1. NPO第10期庶務報告
 2. NPO第10期事業報告及び決算報告並びに監査報告
 3. NPO第11期事業計画案及び予算案
 4. 役員等候補者の選出
 5. 通常総会・評議員会の運営
- 【II. 庶務関連事項】
1. 事務局非常勤職員の異動
 2. 協力会員の入会
 3. 平成25年8月以降の会議・行事予定
- 【III. 財務関連事項】
1. 消費税納税方法の変更
 2. 学術総会剰余金－支部追加活動費－
- 【IV. 編集関連事項】
1. 栄養学雑誌投稿・掲載等の状況
 2. J-STAGE事業
 3. 学術総会一般演題プログラム掲載
- 【V. 学術関連事項】
1. 第60回学術総会準備状況
 2. 学術総会における研究自由集会について
 3. 第61回学術総会準備状況
 4. 第63回（2016年）学術総会会長候補者の推薦準備
 5. 出版事業
 - （1）「コアカリ準拠教科書」シリーズ
 - （2）「実践栄養学用語」に関する書籍の刊行
 6. 倫理審査委員会報告
 7. 管理栄養士養成課程における教育のあり方に関する検討会報告
 8. 日本学術会議協力学術研究団体「生活科学系コンソーシアム」への加入
 9. 関連学協会等との連携
 - （1）文部科学省「平成26年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞及び若手科学者賞受賞候補者の推薦」
 - （2）日本食文化のユネスコ無形文化遺産登録に向けて意見交換会への出席
 - （3）（公財）不二たん白質研究振興財団「公開講演会『大豆のはたらき in福岡一食を通して健やか

な人生をー』への協賛

- (4) 第12回アジア栄養学会議 (The 12th Asian Congress of Nutrition) への後援
- (5) 東京大学総括プロジェクト機構総括寄付講座「食と生命」・ネスレ栄養学会議・ネスレサーチ東京主催「食と生命のサイエンスフォーラム2013～脳の認知機能におよぼす栄養の役割」への後援
- (6) 8th Asia Pacific Conference on Clinical Nutrition (APCCN2013) 協賛御礼
- (7) (社) 全国栄養士養成施設協会第55回通常総会祝電御礼
- (8) 日本調理科学会「平成25年度大会」周知協力 (ホームページ掲載)
- (9) 「第8回食育推進全国大会」周知協力 (ホームページ掲載)
- (10) 日本食品免疫学会「第9回学術大会」周知協力 (ホームページ掲載)
- (11) (公財) 日本食品化学研究振興財団「平成25年度(後期)シンポジウム開催等助成募集」周知協力 (ホームページ掲載)
- (12) やずや食と健康研究所「2013年度研究助成」周知協力 (ホームページ掲載)
- (13) 小浜市「第12回杉田玄白賞」募集周知協力 (ホームページ掲載)
- (14) (公財) 不二たん白質研究振興財団「研究助成募集」及び「公開講演会」周知協力 (栄養学雑誌・ホームページ掲載)
- (15) (公財) 日本科学協会「平成26年度笹川科学研究助成の募集」周知協力 (ホームページ掲載)
- (16) (公社) 米穀安定供給確保支援機構「ごはん食健康データベース整備事業の応募」周知協力 (栄養学雑誌・ホームページ掲載)

【VI. 広報関連事項】

- 1. ホームページ事業

【VII. 国際関連事項】

- 1. 大韓地域社会栄養学会との学術交流
- 2. IUNS栄養学のリーダーシップ育成国際ワークショップ
- 3. ICN2021招致の支援
- 4. 学会各種名称の英語表記

【VIII. 支部会報告】

- 1. 支部会事業の広報
- 2. 支部会への会員情報の提供
- 3. NPO第11期支部会活動費
- 4. 各支部会からの活動報告
 - (1) 北海道支部会
 - (2) 東北支部会
 - (3) 関東・甲信越支部会
 - (4) 北陸支部会
 - (5) 東海支部会
 - (6) 近畿支部会
 - (7) 中国支部会
 - (8) 四国支部会
 - (9) 九州・沖縄支部会

VI. 議事の経過の概要及び議決の結果

【I. 通常総会関連事項】

- 1. NPO第10期庶務報告・・・原案を承認し、評議員会・通常総会に上程することとした。NPO第10期に全国で支部会が組織されたことに伴い、来期の庶務報告から、支部会別の会員数の集計も加えることが説明された。
- 2. NPO第10期事業報告及び決算報告並びに監査報告・・・原案を承認し、評議員会・通常総会に上程することとした。通常総会に提出する決算資料の他に、今期の納税申告に関する計算書類と支部会会計報告に関する資料が配付された。本理事会に先立ち、午前中に開催された監査結果が報告された。

3. NPO第11期事業計画案及び予算案…原案を承認し、評議員会・通常総会に上程することとした。
4. 役員等候補者の選出…現役員の任期が本年10月31日に満了することに伴い、次の者を理事・監事候補者として評議員会・通常総会に上程することとした。理事長・副理事長は総会での理事選任後、理事の互選により決定すること、理事長指名理事は、理事長決定後、総会の議を経て選任することを確認した。

各種委員会・検討会委員は、理事長から現時点で内諾を得ている候補者が提案され、これを承認した。倫理審査委員会の委員長と副委員長の所属が同一組織であることは、委員会の性質上好ましくないとの意見が出され、倫理審査委員会規程に基づき、本理事会で承認された委員の互選により委員長と副委員長を決定することを確認した。本理事会に提案できなかった委員会委員と、新たに組織する検討会（管理栄養士養成課程における教育のあり方に関する検討会、利益相反マネジメントに関する検討会）の人選は理事長に一任することを了承した。

〔理事〕池本真二、石田裕美、石見佳子、岡純、笠原賀子、亀井明子、川島由起子、河野美穂（指定職）、木戸康博、齋藤長徳（日本栄養士会推薦）、酒井映子、坂井堅太郎、酒井徹、鈴木公、鈴木和春、田中弘之、寺本房子、富田教代、新澤祥恵、早瀬仁美、春木敏、藤田修三、南久則、八木典子

〔監事〕酒元誠治、林静子

〔栄養学雑誌編集委員会〕上西一弘（委員長）、瀧本秀美（副委員長）、吉池信男（編集顧問）

〔名誉会員・終身会員推薦委員会〕石田裕美、上西一弘、酒井徹、鈴木和春、富田教代

〔学会賞等選考委員会〕5名。委員は学会賞等に関する細則第12条6項により非公開とする。

〔倫理審査委員会〕稲山貴代（会員）、佐々木敏（医師・会員）、長澤伸江（会員）、野口孝則（会員）、柳元和（医師・会員）本郷哲郎（会員以外の学識経験者）、吉ヶ江治道（一般の立場を代表する者）

〔管理栄養士養成課程におけるモデルコアカリキュラム準拠教科書シリーズ全体編集委員会〕岡純、酒井徹、鈴木公、伊達ちぐさ、徳留裕子、山田和彦

〔実践栄養学用語に関する書籍出版編集委員会〕管理栄養士養成課程におけるモデルコアカリキュラム準拠教科書シリーズ各巻編者（各巻1名）で構成する予定

5. 通常総会・評議員会の運営…通常総会の定足数は委任出席者で達する見込みであること、記載不完全のため無効となった委任状が80通程度あること、評議員会の出欠回答数は締切日を二日後に控えた現時点で評議員総数の4割程度であることが報告された。

【Ⅱ．庶務関連事項】

1. 事務局非常勤職員の異動…雇用条件について社会保険労務士に確認し、平成25年8月1日付で次のとおり任命した。

高橋博子 勤務日・時間：週3日・10時～16時

2. 協力会員の入会…大塚製薬株式会社（東京都港区港南2-16-4品川グランドセントラルタワー）の入会について報告があった。8月22日現在の協力会員名簿（20社・21口）が配付された。
3. 平成25年8月以降の会議・行事予定…来年度の通常総会が8月20日に開催されるため、今期の理事会は今日を含め4回開催すること、来年度通常総会当日の朝に総会審議事項の最終原案（決算・予算）を確認する理事会を開催することが説明され、これを了承した。理事会開催予定は次のとおりである。

〔理事会〕平成26年1月11日、4月26日、7月26日、8月20日

【Ⅲ．財務関連事項】

1. 消費税納税方法の変更…25年7月の参議院選挙後の消費税率に関する動向や、来年度の通常総会は例年よりおよそ1ヶ月早い開催であることを鑑み、今期の消費税納税方法は簡易課税方式を選択したことが理事長から報告され、これを了承した。現時点で予定されている消費税率引き上げと本学会の会計年度の関係が参考資料として配付された。消費税率の引き上げが正式に決定した際には、学術総会の消費税算出方法を改めることが補足された。
2. 学術総会剰余金—支部追加活動費—…学術総会剰余金の取り扱い方法について、A案：当該学術総会担当支部会の追加活動費、B案：当該学術総会会長の報償費、の2案が提案された。どちら

も法人税納税計算を終えた後の剰余金であり、選択した方法にかかる納税手続きを行うため、税務上問題ないことを、監事会で税理士に確認していることが説明された。A案では①支部会活動費として使途が限定されること、②支部会の会計業務の負担が増えること、が説明された。B案について、学術総会会長の勤務環境によって、受け取りづらい場合があること等の発言があった。採決の結果、本人出席21名、A案12名、B案8名でA案が議決された。Aの方法を実施するための細則・申し合わせの改定は、次回理事会で行うことを了承した。

【IV. 編集関連事項】

1. 栄養学雑誌投稿・掲載等の状況・・・NP0第10期の投稿・掲載等の状況について、配付資料により報告された。
2. J-STAGE事業・・・J-STAGE論文閲覧の認証を解除することが提案され、これを承認した。本年8月31日締切で募集している平成25年度J-STAGE投稿審査システムに申込を行うことが報告された。
3. 学術総会一般演題プログラム掲載・・・例年、栄養学雑誌4号に掲載している学術総会一般演題プログラムについて、作業・経費等の削除を期待し、学術総会ホームページに掲載することが提案され、これを了承した。

【V. 学術関連事項】

1. 第60回学術総会準備状況・・・学術総会名誉会長に仙賀鈴江公益社団法人兵庫県栄養士会顧問が推薦され、これを承認した。参加登録人数、演題編成数、各種協賛等の申込状況と最終予算案が配付資料により報告された。取材規程が回覧された。
2. 学術総会における研究自由集会について・・・研究自由集会の主催者は会員に限定すること、研究自由集会に参加する者は全員、学術総会の参加登録を行うこと、を確認した。理事長から、①研究自由集会の受入数は当該学術総会会長に一任すること、②学術総会会長は理事会の議を経て、研究自由集会主催者に会場費・付帯設備等の一部費用負担をさせることができること、但し費用負担が生じる場合は、研究自由集会募集時に公表すること、が提案され、これを承認した。参考資料として過去5年間の研究自由集会開催状況が配付された。
3. 第61回学術総会準備状況・・・会期、主要日程、演題・参加受付期間等について配付資料により報告された。研究自由集会は神奈川県立保健福祉大学実践教育センターを会場とすることが説明され、これを了承した。演題締切日（3月11日）について、会員の所属先の多くが年度末であることを懸念する意見が出され、第61回学術総会に持ち帰って検討することとなった。学術総会ポスターに同時期に開催される関連学協会についても掲載したい旨、発言があったが、当該学協会と学術総会事業との関わりが不明確であるため、本理事会での審議を見送った。
4. 第63回（2016年）学術総会会長候補者の推薦準備・・・前回理事会で承認された持ち回り順に基づき、第63回学術総会会長候補者は東北支部会が理事会に提案することを確認した。参考資料として第30回以降の支部会別開催状況が配付された。
5. 出版事業
 - (1) 「コアカリ準拠教科書」シリーズ・・・配付資料により刊行状況が報告された。
 - (2) 「実践栄養学用語」に関する書籍の刊行・・・「コアカリキュラム準拠教科書シリーズ」の刊行作業を進める過程で、「実践栄養学用語」の定義が統一されていないことが示唆され、学会事業として「実践栄養学用語」に関する書籍を刊行したい旨、理事長から提案があり、これを了承した。本書の編集委員会は、本理事会「I. 通常総会関連事項、4. 役員等候補者の選出」で了承されたとおり「コアカリキュラム準拠教科書シリーズ」の各巻編者（各巻1名）で構成する。
6. 倫理審査委員会報告・・・8月16日までの倫理審査状況と通常総会に報告するNP0第10期の審査状況が配付資料により報告された。
7. 管理栄養士養成課程における教育のあり方に関する検討会報告・・・第二次検討会の最終報告が配付された。第60回学術総会2日目のシンポジウムで会員に報告する。
8. 日本学術会議協力学術研究団体「生活科学系コンソーシアム」への加入・・・「生活科学系コンソーシアム」の概要が配付され、加入することを承認した。
9. 関連学協会等との連携・・・次の事業について後援依頼等があり、これを了承した。
 - (1) 文部科学省「平成26年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞及び若手科学者賞受賞候

補者の推薦」

- (2) 日本食文化のユネスコ無形文化遺産登録に向けて意見交換会への出席
- (3) (公財) 不二たん白質研究振興財団「公開講演会『大豆のはたらきin福岡一食を通して健やかな人生をー』」への協賛
- (4) 第12回アジア栄養学会議 (The 12th Asian Congress of Nutrition) への後援
- (5) 東京大学総括プロジェクト機構総括寄付講座「食と生命」・ネスレ栄養科学会議・ネスレリサーチ東京主催「食と生命のサイエンスフォーラム2013～脳の認知機能におよぼす栄養の役割」への後援
- (6) 8th Asia Pacific Conference on Clinical Nutrition (APCCN2013) 協賛御礼
- (7) (社) 全国栄養士養成施設協会第55回通常総会祝電御礼
- (8) 日本調理科学会「平成25年度大会」周知協力 (ホームページ掲載)
- (9) 「第8回食育推進全国大会」周知協力 (ホームページ掲載)
- (10) 日本食品免疫学会「第9回学術大会」周知協力 (ホームページ掲載)
- (11) (公財) 日本食品化学研究振興財団「平成25年度 (後期) シンポジウム開催等助成募集」周知協力 (ホームページ掲載)
- (12) やずや食と健康研究所「2013年度研究助成」周知協力 (ホームページ掲載)
- (13) 小浜市「第12回杉田玄白賞」募集周知協力 (ホームページ掲載)
- (14) (公財) 不二たん白質研究振興財団「研究助成募集」及び「公開講演会」周知協力 (栄養学雑誌・ホームページ掲載)
- (15) (公財) 日本科学協会「平成26年度笹川科学研究助成の募集」周知協力 (ホームページ掲載)
- (16) (公社) 米穀安定供給確保支援機構「ごはん食健康データベース整備事業の応募」周知協力 (栄養学雑誌・ホームページ掲載)

【VI. 広報関連事項】

1. ホームページ事業・・・8月16日までの更新情報が配布資料により報告された。

【VII. 国際関連事項】

1. 大韓地域社会栄養学会との学術交流・・・11月1日に韓国ソウル市のSETECで開催する第4回日韓シンポジウムのシンポジストとして、杉山みち子神奈川県立保健福祉大学教授と田中弥生駒澤女子大学准教授が参加することが説明され、これを了承した。同シンポジウムの開催案内と同日開催の大韓地域社会栄養学会秋期学術大会の概要が配付された。
2. IUNS栄養学のリーダーシップ育成国際ワークショップ・・・平成26年3月11日から13日に独立行政法人国立健康・栄養研究所で開催するワークショップの概要が配付資料により報告された。本学会からは石田裕美国際担当理事、石川みどり国立保健医療科学院主任研究官、吉池信男青森県立保健大学教授が、運営メンバーとして参画することを了承した。
3. ICN2021招致の支援・・・日本誘致ウェブサイトや誘致応援Facebookなどの活動が配付資料により報告された。ICN2021は、9月18日にスペインで開催する20th ICNの会場で決定する。
4. 学会各種名称の英語表記・・・配付された原案を了承した。

【VIII. 支部会報告】

1. 支部会事業の広報・・・全国に支部会を組織したことに伴い、栄養学雑誌やホームページの広報活動について、配付資料により確認した。
2. 支部会への会員情報の提供・・・支部長からの依頼により、当該支部会の会員情報を提供することを確認し、提供する会員情報の範囲は次のとおりとした。

[提供する会員情報の範囲]

○正会員、学生会員、名誉会員、終身会員：①所属県、②会員種別、③会員番号、④氏名、⑤ふりがな、⑥栄養学雑誌送付先住所、⑦勤務先名称 (部署名まで)

○評議員：前述の項目+メールアドレス (ただしメール通信の承諾を得ている者)

3. NPO第11期支部会活動費・・・次のとおり承認した。

- (1) 基本活動費 20万円
- (2) 会員数割活動費 (正会員・学生会員1名あたり)

会員数2,000名以上：100円 会員数2,000名未満：150円

(3) 市民公開講座事業費（限度額）

単独開催：20万円 他の支部事業と併催、他団体等との共催：10万円

4. 各支部会からの活動報告…各支部長から報告されたNP0第10期事業報告・活動費支出報告・役員名簿とNP0第11期事業計画が回覧された。支部会活動費の使途について支部会の自由度を上げて欲しい旨、発言があった。

- (1) 北海道支部会…第11回支部会学術総会は、板垣康治北海道文教大学教授を学術総会会長とし、12月1日に北海道大学学術交流会館で市民公開講座とともに開催する。北海道支部会学術総会表彰制度（奨励賞：仮称）の創設について配付資料により提案され、これを了承した。
- (2) 東北支部会…8月18日に設立総会を開催し、吉池信男青森県立保健大学教授が支部長となった。
- (3) 関東・甲信越支部会…9月12日設立総会を開催する。
- (4) 北陸支部会…第9回支部会学術総会は、清水瑠美子（公社）福井県栄養士会会長を学術総会会長とし、2月23日に福井織協ビルで市民公開講座とともに開催する。
- (5) 東海支部会…支部長に異動があり、本年8月1日付で鈴木公名古屋経済大学大学院教授が支部長となった。第3回支部会学術総会は、長村洋一鈴鹿医療科学大学教授を学術総会会長とし、6月29日に鈴鹿医療科学大学で市民公開講座とともに開催する。
- (6) 近畿支部会…第12回支部会学術総会は、幸林友男千里金蘭大学教授を学術総会会長とし、12月8日に千里金蘭大学で開催する。
- (7) 中国支部会…第10回支部会学術総会は、坂井堅太郎広島女学院大学教授を学術総会会長とし、7月5～6日に、広島女学院大学で市民公開講座とともに開催する。
- (8) 四国支部会…酒井徹徳島大学大学院教授が支部長となった。
- (9) 九州・沖縄支部会…8月27～28日に設立総会・第1回支部会学術総会を開催する。

VII. 議事録署名人の選任に関する事項

議長より本日の議事をまとめるに当たり、議事録署名人2名を選任することを諮り、新澤祥恵理事及び早淵仁美理事を選任することを全員異議なく承認した。

以上